

「日々成長」

私は幼いころから父に競馬場や牧場巡りなどに連れて行ってもらい、自然と競馬に興味を持つようになりました。とはいっても、実際に馬に乗ったことは、牧場などで体験できるゆっくりとした常歩でしか体験したことはありませんでした。

BTC 研修に入講し騎乗訓練が始まると、当然、私は馬にほとんど乗ったことのない初心者グループに割り振られました。最初は、馬の速歩のリズムがよくわからずバランスを崩して落ちそうになり、全くうまくいきませんでした。そして、乗馬経験者の研修生が簡単そうに乗っているのを見るたびに、置いていかれてしまうのではないかと不安な日々が続きました。そんな私でも、次第に馬のリズムに合わせた速歩がとれるようになり、初めは「難しいな」「きついな」とマイナスなことしか考えられなかった騎乗訓練が、楽しい、もっと乗りたいと思うようになってきました。

騎乗訓練の主な流れは、最初は個人のレベルに合わせてチーム分けされ、覆馬場や角馬場で1頭の馬を数人で乗り替わりながら練習し、だんだん乗れるようになってきたら1人1頭乗りの全員で合同訓練を行います。

その後、徐々に馬を扱えるようになると、800m 走路での騎乗訓練が始まります。800m 走路では走行タイムを指定され、

そのタイムに合わせ、前の馬と3馬身の距離を保ちながら騎乗します。言葉で書くのは簡単ですが、実際にやるのはとても難しく、6ヵ月経った今でも苦戦している研修生がほとんどだと思います。

走路では馬が一生懸命走りすぎてオーバーペースになってしまうことや距離がうまく取れないことがあり、そのたびに教官からどこが悪いから馬が抑えられないなどの的確な指導を受けています。その中で、次はこうやって乗ってみよう、こうしたらよくなるのではないかと、試行錯誤しながら研修生は皆、技術の上達を目指しています。

そして、距離やペースが正確に取れるようになると、2騎併走や3騎併走をしたり、BTC の施設に行ったりと応用の訓練に移っていきます。併走になると、隣の馬との間隔や前の馬との距離、ペースなど意識する点がさらに増え、大変難しくなります。今でもまだまだ上手くいくことより失敗のほうがはるかに多く、日々勉強の毎日です。

「今日より明日、明日より明後日うまくなっていきたい」、これはある名騎手の名言ですが、私はこの言葉を胸に刻んで訓練に励んでいます。日々成長していくためには、自分がうまくなるのだという強い思いはもちろんのことですが、訓練させてくれる馬、指導して下さる教官、素晴らしい施設に感謝しながら研修していかなければと思っています。

まだまだ未熟者ではありますが、プロのホースマンとして安心、信頼して馬を預けていただけるような人間性と技術を、しっかりと身に付けていきたいと思っています。

